

科目名		授業形態	担当教員名	
生活環境学		講義・演習	前川 加奈	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
住宅改修の基本、福祉用具について講義を行います。人間の活動と環境の相互作用を理解し、実習を交えながら、高齢者や障がい者の生活支援のための生活環境評価や住環境整備の方法について具体的理解を深めたいと思います。高齢者や障がい者の在宅環境(家屋、福祉用具等)を、制度や施策を通して、リハビリテーションの視点で理解することを目的とします。				
授業の到達目標				
1.生活環境、福祉用具の基礎知識が理解できる 2.バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解できる 3.生活環境整備の流れ、福祉用具支援の流れが理解できる 4.住宅改修のポイント、福祉用具のメリット・デメリットについて説明できる 5.生活環境の整備や福祉用具に関わる制度について理解する				
授業計画				
回	内容			
1	生活環境学総論 住環境整備総論（目的、整備の流れ、評価、住宅の基礎知識）			
2	住宅改修の基本（配置と動線、段差、手すり、建具）			
3	部屋・場所別の環境整備の方法1（アプローチ、玄関）			
4	部屋・場所別の環境整備の方法2（廊下、階段、トイレ、浴室、洗面、脱衣室、キッチン、寝室）			
5	間取り図の作成（演習）			
6	疾患別環境整備1			
7	疾患別環境整備2			
8	生活環境の整備に関わる制度 IT機器・ICTとリハビリテーション			
9	福祉用具総論（目的、支援の流れ、評価） 各福祉用具のメリット、デメリット			
10	福祉用具1			
11	福祉用具2			
12	福祉用具3（演習） 福祉用具の使い方、メリット、デメリットについて発表			
13	福祉用具4（演習） 福祉用具の使い方、メリット、デメリットについて発表			
14	地域環境のバリアフリー化について			
15	福祉用具に関わる制度 生活環境学のまとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	50%			
レポート				
小テスト				
平常点	10%	授業態度		
その他	40%	課題の成果物および発表、講義録の提出		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学専門分野 日常生活活動・生活環境学 第5版	鶴見隆正・隆島研吾編集		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト	東京商工会議所		東京商工会議所	
生活環境学テキスト 改定第2版	細田多穂		南江堂	
自由記載				
備考				